

保護者等からの事業所評価の集計結果								
公表								
事業所名	てらぴあぽけっと新浦安教室							
公表日	令和8年 2月 20日							
利用児童数	32人 回収数 29 割合93%							
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29件				・個室だけでなく小集団が活動できるスペースがあり広すぎずで活動しやすい。 ・4人の子供が活動するには十分なスペースだと思います。	ある程度の広さを確保し、お子様が楽しく安全に活動ができるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26件	2件	1件		・詳しくはよくわからないが、今まで問題があつたと感じたことがない。 ・専門性（資格など）についてはわかりません。	基準人員を満たして職員を配置しております。専門性については、各プログラムにて専門職員の意見等を踏まえながら取り入れています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28件	1件			トイレの場所や手洗い場もわかりやすく問題ないと思う。	引き続き、お子様がわかりやすいように掲示を工夫してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29件				床で這いずり回ったりする子なので、子どもの服を見れば教室の清潔さが大体わかるのですが、毎回過度に汚れていることはないので、きちんと掃除されているのかなと感じます。また、教室に行くと度々塩素系のにおいがするので、感染対策もきちんとされているのかな?と感じ、親としては安心しています。 いつもきれい。	今後も教室内の清掃に力を入れていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28件	1件			・子供に合った支援をいつもして頂いていると思います。 ・先生ごとにどのような専門性があるかは知られていないのでわかりませんが、子どもの特性に合わせて工夫して支援を行っていると感じます。 ・パニックになることもあるが先生方がいつも笑顔で対応してくれるため助かっている。	・各お子様の段階に合わせてプログラムを考えています。また、様々な専門職員が担当をすることで、多角的な視点でお子様の状態を捉え、療育に活かしています。 ・職員紹介の掲示で保有資格について記載をしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28件		1件		いつもわかりやすく説明もしてくれる。	
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29件				・ニーズを反映しつつ、とても具体的に計画が設置されています。 ・その後の成長速度に合わせ計画支援していくだける。	引き続き、保護者様に丁寧な聞き取りを行なながら、各お子様に合った個別支援計画書を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27件		2件		・非常に具体的に設定されています。 ・他事業者さんの計画書と比較すると非常に具体的で、親としてはわかりやすく内容を知ることができ、家庭での触れ合いへの参考にもなっています。また親子分離で通わせる安心感にも繋がっています。	引き続き、保護者様へわかりやすくお伝えすることを心がけてまいります。また、支援者目線での個別支援計画書ではなく、お子様や保護者様に必要なことをお伝えできるようにしてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29件				・保護者の悩みなども組み入れてくれる。 ・全て実践されていると感じます。	・個別支援計画書については、お子様の状況に合わせて作成をしております。 ・状況に合わせて個別支援計画書の変更も行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28件	1件			・出来たこと、出来なかった事をその都度評価して子どもその時の状況に応じて臨機応変なプログラムが実施されている。 ・子供の特性に合った支援をして頂いていると思います。 ・その都度評価し新しい目標も見つけてくれている。	各お子様の成長過程や現在だけでなく、将来も見据えて、必要なプログラムを提供しています。必要に応じて、保護者様とのお話の中からも支援プログラムを考え、臨機応変に対応をしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9件	2件	7件	11件	・今のところ機会がありません。 ・幼稚園に通園している。 ・したことがない	今の所、そういう機会を設ける予定はありません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29件					引き続き、丁寧な説明を心がけてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29件				とても丁寧に説明していただきました。	わかりやすく、丁寧な説明を行ってまいります。

保護者への説明等	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17件	3件	2件	7件	・問14~16は、まだ通所日数が少なく、今後期待します。 ・まだ参加したことがないのでわかりません。	毎月発行のてらぼけLetterにて、ご家庭でも取り組めるプログラムのご紹介をしています。また、利用時のフィードバックの時やご見学時の際にも教室での取り組み方などもお伝えをしております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	26件	2件		1件	よく話を聞いてくれている	来所時やセラピーノートにてご体調やご家庭でのご様子をお聞き取りしております。フィードバック時にも教室でのご様子をお伝えしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26件			3件		定期的な面談の他に、教室でのお子様のご様子を見学してもらう機会を設けています。その際に療育以外のお子様のご様子をお聞きしご助言をさせて頂くことがあります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29件				スタッフみなさん優しく親身に接していただいております。	ご意見ありがとうございます。引き続き、より良い療育を提供できるように心がけてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2件	3件	8件	16件	・そういった機会があれば参加を検討しますが、無くても特に問題ないと思います。 ・参加したことがないので、まだわかりません。	現時点では、開催する予定はありませんが、保護者様からのご要望の声が多くなった際は、検討してまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27件	1件		1件	メールなどでも対応してくれる	保護者様からのご相談や申し入れがあった際は迅速に対応ができるように、職員間との連携を強化してまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29件					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25件	1件		3件		毎月のてらぼけLetterで掲載をしたり、個別対応にてお伝えをしております。自己評価の結果に関しては、ホームページにて掲載をしております。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28件	1件				個人情報の取り扱いについては、ご契約時にご説明をさせていただいています。引き続き、個人情報の取り扱いについては、十分に注意をしてまいります。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21件	1件		7件		保護者様が閲覧が出来るように相談室に置いてあります。各種訓練については実施後に、てらぼけLetterにてお知らせをしております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24件			5件	避難訓練をした時は、家に帰って色々話してくれました。	防災グッズの確認や各種避難訓練などを引き続き、実施してまいります。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26件	1件		2件		お子様が安全に教室を利用することができるよう、コンセントキャップカバーやコーナーガードの取り付けなどを行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28件			1件	すぐ共有してくれている	事故などが発生した時は、速やかに対処し保護者様への連絡・相談をしております。また、その経緯や対応などについても詳細にお伝えをするようにしております。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	29件				大好きな場所	引き続き、お子様が安心感を得ながら通える教室となるように頑張ってまいります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	26件	2件		1件	・いつもニコニコで通っています。スキンシップも多く、安心している様子が見られます。 ・お休みの日も今日はあるのかと尋ねられています。	お子様が教室に楽しく通えることが大切だと考えております。引き続き、楽しく明るい教室を継続できるように努めてまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	29件				家庭ではない外の環境で、日常動作を毎回丁寧に根気強く教えていただけること、そして遊びと学び、メリハリをつけて接していただけることは、入園前の子どもの親としてはとてもありがたく感じます。たまに帰宅してグッタリしている様子がありますが（笑）それは先生方の素晴らしい熱意によるものもあるのかなとも感じます。いつも本当にありがとうございます。	保護者の皆様には、日頃からの教室に対してのご理解とご協力に感謝しております。今回のアンケート結果を受けまして改善が必要な所を検討し、より良い療育をご提供できるように努力してまいります。

事業所における自己評価結果

公表					
事業所名		てらぴあぽけっと新浦安教室			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・年長のお子様は、就学を見据え学校の教室を想定し大部屋で取り組んでいる。 ・相談室を療育の個室と使い分けている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		充足している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	視覚的な掲示などで工夫をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・当日の朝に掃除をすることで、綺麗な状態でお子様を迎えることができる。 ・毎日の清掃の実施。使った玩具の消毒。	引き続き、清潔を保てるようにしていく。また、整理整頓にも力を入れていく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・朝礼や終礼などで確認をしている。 ・帰宅前に一日の気づきを書いたり、職員の意見や発言がしやすい職場環境を作っている。	常にPDCAサイクルを意識しながら業務を行えるようにしていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事業所評価やフィードバック時に保護者様からの話を共有し改善をしている。	保護者様からのご意見を真摯に受け止め、改善すべきことがあった場合、速やかに対応するようにしていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の朝礼や終礼、書類の回覧などで振り返りをしている。	各職員と個別に話し合う場や話ししやすい環境を整えていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	新浦安教室では、まだ第三者評価を受審していないが、会社内の別事業所で受審した結果を参考にしている。	「はい」の回答があり、第三者評価の認識ができていないことが分かった。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		オンライン研修に参加している	毎月の本部オンライン研修への受講を継続していきながら、学んだことを実践していくようにしていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者様との面談でニーズを把握して職員間で共有をしている。	引き続き、丁寧な聞き取りの機会を設けていく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		他スタッフの意見を反映して作成をしている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画書は、全職員がいつでも閲覧できるようになっており、計画に沿ったプログラムを実践している。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		担当スタッフ以外にも相談をしながら進めている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・複数の担当スタッフがいる。 ・お子様の発達状況に合わせてプログラムを検討して取り組んでいる。	毎回の療育後の引き継ぎを行っているが、定期的にプログラムを見直す機会を設けていく。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		年齢などに限らず活動ができるようにしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日の朝礼や終礼での報告・連絡の他に次の担当者に向けた引き継ぎ事項を記載する専用シートを使い連携している。	

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	終いで振り返りを行なっている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	データファイルに全て記録を残している。	記録が漏れていることがある為、ファイルを戻す前に改めて見直す習慣をつけていく。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	6ヶ月に1回以上、見直す機会を設けて支援計画を更新している。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	児発管が出席している。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	保護者様を通して、他療育先や園での面談内容を確認をしている。	各関係機関との会議に参加し連携を深めることで、お子様の現状を把握し教室での療育に活かしていく。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	・保護者様からの資料を確認している。 ・教室からも依頼があった際は、就学支援シート等を作成し提供している。	お子様の今後を見据え、様々な関係機関との繋がりやサポート体制を強化していく。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	就学支援シートにて情報提供をしている。	
28	(28~30は、センターのみ回答)			
29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
32	(31は、事業所のみ回答)			
33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	・発達センターの方に教室へ来てもらいアドバイスを受けている。 ・本部SVに相談している	継続的に連携が図れるようにしていく。
34	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4	フィードバック時に教室の様子をお伝えするだけでなく、ご家庭での様子も伺うようにしている。	
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	契約時にお伝えをしている。	引き続き丁寧な説明を行っていき、不明な点などがあった際は、速やかな対応ができるようにしていく。
37	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	保護者様からの聞き取りシートの記入や面談を実施している。	
38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	
39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	お子様の利用時に見学をしていただいて、お話をしている。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	毎月、お便り「てらぼけLetter」を発行している。	引き続き、毎月のレターの発行と内容の充実を図っていく。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	・契約時に個人情報に関する書類で意向確認をしている。 ・てらぼけLetterに様子を載せる時は、お子様が特定されないようにイニシャルでの表記や写真にぼかしを入れるなどをしている。	
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	お子様が見るだけでわかるような絵や写真を掲示している。また、職員はお子様へ言葉と動きも合わせて伝える等の工夫をしている。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		地域のニーズに合わせて検討をしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		訓練をした際は、「てらぼけLetter」に掲載し、保護者様に報告している。	各種マニュアル等は相談室などに閲覧ファイルを設置している。レターに掲載するだけでなく、お渡しする際に口頭でも訓練の様子などをお伝えし周知していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		動画視聴の研修や訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者様へ確認をしている。各個人のファイルに記載している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・教室内では、水やお茶以外の飲食はしていない。 ・食物アレルギーについては、契約時に確認をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		非常災害時の対応方法やお子様が怪我をした際の応急処置の方法、不審者などからの防犯対策など、お子様が安全に教室を利用していただけるように各種研修や訓練を実施している。	保護者様への周知がまだ不足している為、お子様の安全確保について、各種研修や訓練の様子をレターへ掲載し口頭でもお伝えをしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎日の終礼時に確認をしている。ヒヤリハットがあった際は、情報の共有と改善策を記録に残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会の実施。教室内に責任者と担当スタッフを配置し、セルフチェックや研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約時に保護者様へ説明し、個別支援計画書にも記載している。	

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぽけっと新浦安教室			
○保護者評価実施期間	令和7年12月4日 ~ 令和7年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和7年12月27日 ~ 令和8年1月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様がお子様の小集団活動や個別療育を見学する機会が多く取れている。	ご来所時に保護者様へご見学のお声掛けを積極的に行っている。ご見学が難しい保護者様については、ご見学が可能な日をお聞き取りし日程調整と対応を行っている。	ご見学をする保護者様が限られてきている為、今までご見学することが少ない、したことがない保護者様へのお誘いやレターなどでも周知していきたい。
2	公認心理師、言語聴覚士、保育士、作業療法士、児童指導員、介護福祉士といった各専門職員が揃っている。	様々な職種の職員が専門知識や経験を活かした療育が提供できている。特に言葉に関する悩みを抱えている保護者様が多くいらっしゃるので、常勤の言語聴覚士が対応している。	保護者様との面談をする機会の際に、保護者様の悩み事に応じて、児発管だけでなく専門職員も一緒に話を聞き、必要に応じて助言を伝えられる機会を設けていきたい。
3	各お子様の療育についての課題の設定やその目的、進め方などが職員間で相談しやすい環境になっている。	療育に関して疑問に思ったことや悩んでいることを聞くことができる雰囲気になっている。 一人の考えで決定するのではなく、職員間で話し合って確認をしながら決定するようにしている。	他職員に聞くだけでなく、自分の考えや目的を持って相談をするようにしていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玩具や教材の片付けが不完全になりがち	玩具、物品が無くなっていたり数が足りない場合、お子様が誤飲したのではないか等の危険性の認識が欠如している。	・使用した玩具や教材は、数量を確認し元の場所に戻してから業務を終了する。職員間で注意喚起の声掛けをしていく。 ・玩具や教材の場所をわかりやすいように整理し直して、片付けがしやすいようにしていく。
2	外部研修への参加が少ない。	外部研修のインフォメーションや促しが少なく、研修への参加を自主性に任せていた。	・外部研修の案内が来た時に職員へ回覧で周知し、参加への促しを継続していく。 ・研修への参加を自主性に任せると、上司がその研修に参加することが望ましいと思う職員へ伝え受講をしてもらう。
3	お子様毎の必要な個別対応や支援方法の詳細な どが、職員間で周知徹底ができていない。	・毎日の朝礼や終礼時などで職員への報告が不完全だった。 ・報告はしたが詳細までが引き継がれていない。	・お子様の様子や保護者様からの情報などをささいなことでも報告をするようにしていく。 ・お子様のファイルに、毎回の引き継ぎ用紙と別で、職員が過去の伝達事項も含めて確認して書き留めていけるページを作ること。